PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-253348

(43)Date of publication of application: 20.10.1988

(51)Int.CI.

G03B 42/02 A61B 6/00 G06F 15/62

H04N 1/04

(21)Application number: 62-087500

(71)Applicant: FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing:

09.04.1987

(72)Inventor: WATANABE YUKIO

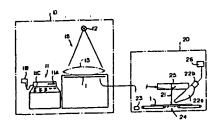
(54) RECORDING AND READING SYSTEM FOR RADIOGRAPH INFORMATION

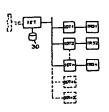
(57)Abstract:

}

PURPOSE: To permit an optional image reader to read an accumulation type fluorescent material sheet registered by any registration means by connecting plural registration means and plural image readers to an information control means managing integrally ID information.

CONSTITUTION: A photographing chamber 10 is provided with an ID terminal 11 registering ID information on photographing, and the image reader 20 is provided with a bar code reader 23 reading the bar code of the accumulation type fluorescent material sheet 1. After the ID information inputted to each ID terminal is compared with the bar code, they are inputted to an ID control terminal IET, and are stored on a shared file 30. When the bar code is inputted to the ID control terminal IET from each image reader IRS through an ID terminal IDT, the corresponding ID information is called, and the image reading part that has outputted the bar code sets





read conditions and processes an image based on the ID information. Thus any image reader can read any accumulation type fluorescent material sheet inputted through any ID terminal.

⑩日本国特許庁(JP)

①特許出頭公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭63 - 253348

@Int_Cl.4	識別記号	庁内整理番号		⑥公開	昭和63年(198	8)10月20日
G 03 B 42/02 A 61 B 6/00 G 06 F 15/62 H 04 N 1/04	3 0 3 3 9 0	B-7811-2H K-7232-4C 8419-5B E-8220-5C	審査請求	未請求	発明の数	1	(全5頁)

匈発明の名称 放射線画像情報記録読取システム

塑出 願 昭62(1987)4月9日

砂発 明 者 渡 辺 由 木 雄 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地 富士写真フィルム

株式会社内

①出 願 人 富士写真フィルム株式 神奈川県南足柄市中沼210番地

会社

②代 理 人 并理士 柳田 征史 外1名

羽 編 肉

1. 売明の名称

放射線質象物報記録誘取システム

2. 特許請求の範囲

3. 発明の詳細な説明

(発明の分野)

本発明は苦食性性光体シートに放射線整像情報の記録を行なった後、この密積性世光体シートに配録された放射線護像情報記録放取システムに関し、特に詳軟には、上記システムにおける被写体情報。最影情報である。(従来の技術)

ある個の世光体に放射線(X輪、α輪、8輪、 ア線、 常外線、 電子線等)を限削すると、この放射線エネルギの一部が世光体中に書積され、この 世光体に可被光等の励起光を駆削すると、蓄積されたエネルギに応じて世光体が輝尽発光を示すことが知られており、このような性質を示す蛍光体は蓄積性世光体と呼ばれる。

この書稿性労光体を利用して、人体等の被写体の放射範囲教育報を一旦書稿性労光体のシートに記録し、この書稿性労光体シートをレーザ光等の 励促光で走変して輝尽発光光を生ぜしめ、初られ た郊尽邦光光を光電的に読み取って 医療信号を収、この画像信号にはづき写真感光材料等の記録材料、CRT等の透示装置に被写体の放射線面像を可視像として再生する放射線面像情報記録再生方法が本川動人によりすでに更素されている。(特別和55-12429月。阿56-11395月など)

面像を打ることができる。

上記方法において新稿性批光体シートはまず概 影験理において顕像情報の記録(撮影)が行なわ れるが、この撮影に先立って、被写体の性別。氏 名符の被写体情報および、貴影年月日、撮影部位 といった粗彫物似等の10(identification)物 程の登録が行なわれる。すなわち、撮影技罪の近 的には造材上記1D併収の登録手段としてJDタ ーミナルが駆けられており、この1Dターミナル に予め必要な情報が記入された風気カードや手助 操作的により、上記10損軽が入力される。また 蓄積性世光体シートには適常験シートを他の蓄積 性世光体シートと区別するための設別記号として パーコードが設けられており、1Dターミナルに おいては上記ID特報の登録とともパーコードの 敗取りも行なわれ、1Dターミナルは上記1D債 程とパーコードを対応させて配復手段に配憶させ る。一方、撮影核量で撮影の終了した苦積性蛍光 休シートは画像鉄取装置に装塡されて函換物報の 財政りが行なわれるが、蓄積性蛍光休シートは画

無洗収装置に装切されると再びパーコードが飲み取られ、味み取られたパーコードは前記記憶手段へ送られて記憶手段からは同一のパーコードに対応するID 情報が引き出される。このようにして特られたID 情報は顕軟読取装置に入力され、読取装置内においては「D 情報に基づく競取条件の即定や面象処理が行なわれる。

(発明が解決しようとする問題点)

1

そこで木発明は、前述した登録手段および函数

商物は取該置がそれぞれ複数設けられているシステムにおいて、どの登録手段でID情報の登録をした蓄積性蛍光体シートも任意の画像院取装置で 読み取りを行なうことのできる放射線画像情報記 録数取システムを提供することを目的とするもの である。

(関題点を解決するための手段)

なお、前記的報管理手段は前記製品の登録手段の1つと無用されていてもよい。また登録手段および函数以外を取り、前報管理手段に投続されているとは、いずれの登録手段および函数技取手段も同報の受け該しを行なうことのできる状態を意味するものであり、画像技取

装回は賃担信理手段と直接接続されていてもよい し、登録手及を介して賃担信理手段と接続されて いてもよい。

(PF JU)

上記システムにおいては各型録手段に入力された情報は情報管理手段において一括して管理され、情報管理手段において管理される情報は適宜顕敬 焼 取装置に伝えることができるので、 類影を行なう際に10情報等の登録が行なわれた 鬱硫性 俊光 体シートは、 どの登録手段に おいて登録が行なわれたかにかかわらず、任意の 胸像 既取装置で 既取りを行なうことができる。

また、上記のように対影に関する情報を情報管理手段において一括管理すれば、各種の統計情報を関邦に得ることができる他、蓄積性労光体シートのにその使用函数を検索することもできるので蓄積性労光体シートのた命管理も容易に行なうことができる。

(灾 施 册)

)

以下、因面を参照して木発明の実施例について

入力され、入力された I D 情報はパーコードと対応付けられて被述する情報管理手段である J D 管理ターミナルに記憶される。このように I D 情報の登録の枝了した蓄積性 蛍光体シート は難彫即 15 において X 輸取等の放射 輸 厭 12 に被写体 13 を挟んで対向する位置に配され、この状態で放射機 類 12 が作動されて被写体 13 の放射線 面 衛 情 化 が 形動されて 被写体 13 の放射線 面 衛 影が行なわれる。

説明する。

第1回は木作明のシステムにおける撮影および 鉄取りの概要を説明する根略圏である。

本システムにおいて、 蓄積性労光体シート 1 は まず撮影室10において放射枠面条情報の記録(質 彫)が行なわれる。またこの規影空10には過形に 関する情報である「D賃報を登録する登録手段で ある IDターミナル 11が段けられている。この「 D ターミナル11には、被写体の氏名。性別等の被 写体的セガよび、処形年月日。雑形時刻、斑彫方 法。機影節位等の撮影情報といった「D情報が、 予めこれらの賃程が入力されている「Dカードが 1 D カード受付口11A に押入されるか、またはキ ーポード110により直接入力されることにより入 力される。また前記書積性世光体シート1はその 裏面にパーコード(因示せず)が似けられており、 1Dターミナル11はこのパーコードを耽み取るパ ーコードリーダー11Bを借えている。普段性世光 体シートは細形に先立ってそのパーコードを続み 取られるとともに【D情報が【Dターミナル11に

れて必要な面像処理が行なわれる。また面像焼取 被置20内には普段性蛍光体シート 1 のパーコード を読み取るパーコードリーダー 23が設けられてお り、普種性蛍光体シートは上述した顕像情報の設 取りに先立ってそのパーコードが読み取られる。

n 個の面像鉄取装置 1 R S 1 、 J R S 2 、 … … I R S n はn 値の J D ターミナル 1 D T 1 、 J D T 2 、 … … I D T n とそれぞれ 1 対 1 で 扱 校 されている。また上配の各 I D ターミナル I D T 1 、 I D T 2 、 … … I D T n はそれぞれ I D 管 型 ターミナル I E T に 接 枝 されて おり 、 各 J D ターミナ

ルに入力された!D情報およびパーコードは!D 抗根とパーコードを対応させた上ですべてID質 取ターミナル!FTに入力される。I D 哲理ター ミナルIETは共通ファイル30を有し、JD賃型 ターミナルに入力された情報は一旦すべて共通フ アイル30に配位されることにより「D哲理ターミ ナルにより一括して管理される。一方、上紀各面 飲味取数置JRS1、JRS2、…… IRSn に おいて的込したように蓄積性蛍光体シートのパー コードが読み取られると、このパーコードはそれ ぞれの面位誘取装置1RSから1Dターミナル! DTを介してJD牧型ターミナルIETに入力さ れる。IDターミナルIETにおいては入力され たパーコードと対応するID前根が呼び出され、 このJD領担はパーコードを出力した画像状取符 置に入力され、この百象防取都においては入力さ れたID併帽に基づいた跛取条件の設定や顕像処 廻が行なわれる。このように複数の『Dターミナ ルから終られるJD情報をすべて1つのID管理 ターミナルIETにおいて管理し、この管理ター

ミナルに複数の配像鉄取装型を接続すれば1Dタ ーミナル。顕像珠取装置の双方で鉄み取られるパ ーコードを中介として、いずれのIDターミナル で「D情報の入力がなされた蓄積性蛍光体シート も任意の画像跳取装置において画像情報の読取り を行なうことができる。 従って複数の画像熱取装 調を無駄なく効率的に駆動させて多数の装積性質 光体シートの鉄取りを行なうことができる。また、 【 D 管 返 ターミナル | E T に はシステム全体の 】 D情報が一括して入力されているので、このID 管理ターミナルから組彫に用いられた蓄臥性災光 休シートに関する情報を幾にする腕計情報を簡単 に好ることができる。例えば雑彩部位をペースに して、蟾彫郎位毎の撮影の頻度を求めたり、被写 体(取者)をペースにして、ある患者が特定の期 匿中にどのような撮影をそれぞれ何回受けたかを 求めたり、あるいは顕影時間をベースにして、時 固帯包に多く行なわれる歯形の種類を求めたりす ることもできる。また各蓄積性供光体シートをベ ースとして、それぞれ蓄積性蛍光体シートに対す

る限形回数を求めることにより訴責性性光体やシートの方命管理を行なうことも容易となる。でなられたのような統計情報を本システムのみでなら、一個として内容を体の他の情報と一緒にしてで理したい場合には、システム外の、病験全体のデータを管理するホストCPU40にある『D管理ターミナル』をで見ませるよい。

なお、「Dターミナルは必ずしちのでは、 Lのターミナルは必ずした。 ないののでは、 が、 ないののでは、 が、 とののでは、 が、 とののでは、 が、 とののでは、 が、 とののでは、 が、 とののでは、 が、 とののでは、 とのでは、 とのでは、

】 D 管理ターミナル 1 E T は、第 4 図に示すようにすべて世列に配し、各画像放取装置が 1 D ターミナルを介さずに直接 1 D 管理ターミナルから 1 D 情報を受けとるようにしてもよい。またその場合には第 5 図に示すように 1 つの 1 D ターミナルが 1 D 智理ターミナルを兼ねることもできる。(発明の効果)

 記録が竹役信望ターミナルに一抵して残るので、 その寿命信度も極めて容易に行なうことができる。

4. 図図の簡単な肌明

第1個は本発明のシステムにおける概形、情報の登録、および該取りを説明する観略図、

第2回、第3回、第4回、第5回は画像物取枝四、1Dターミナルおよび1D管理ターミナルの 接続関係の例を示す図である。

1 ··· 書積性数光体シート 11··· J D ターミナル

15… 拠 能

20… 面像统取故题

30… 共通ファイル

1ET… JD哲 迎ターミナル

IDT1, IDT2,IDTn

… IDターミナル

1 R S 1 , 1 R S 2 , 1 R S n

… 頭像放取装置。

